

上越ケーブルビジョン FM じょうえつ
令和 6 年度
第 2 回放送番組審議会 議事録

開催年月日 令和 7 年 2 月 18 日（火）10：00～11：00
開催場所 上越ケーブルビジョン本社
出席者 委員数 5 名 出席委員数 5 名
審議委員 松屋 徹 委員長、鈴木 陽一 副委員長、保坂 一八 委員
高橋 朋美 委員、柴野 美佐代委員
JCV メディアセンター担当取締役・部長 沢田真紀
メディアセンター課長代理 岩崎勝洋、メディアセンター課長代理 鶴見幸恵

1 開会

2 挨拶 上越ケーブルビジョン 担当取締役部長 沢田真紀

3 議題

(1) 番組について

(a) 収録番組「ようこそ先輩」

(b) 収録番組「くびき野フォーク村のフォークボックス」

(2) その他

(a) 上越妙高駅 開業 10 周年記念イベント

4 議事の概要

(1) について

(a) 収録番組「ようこそ先輩」

概要 今年 1 月から放送開始 金曜午後 10 時半～、土曜正午～ほか
首都圏で活躍する若者と故郷をつなぐトーク番組

現在の活動や上京したときのエピソード、離れて感じた故郷の良さなどリアルな声を
上越妙高に住む若者に届ける。

(b) 収録番組「くびき野フォーク村のフォークボックス」

概要 土曜午後 5 時～

上越市のフォーク愛好家「くびき野フォーク村」による番組。

フォークソングについてのトークや、自身が行っている定期ライブの音源を放送。

5 審議内容

(a) 収録番組「ようこそ先輩」

①（審議委員） 地元と首都圏をつなぐのは、今後良い出会いに繋がると思う。

②（審議委員） ゲストのトークが上手な一方で少し淡々と聴こえる。

事前の打ち合わせはしているのか。

- ③（事務局） 事前に質問内容をゲストと共有し、収録前に簡単な打ち合わせを行っている。
より内容がリスナーに届くよう、話の進め方など工夫していきたい。
- ④（審議委員） 妙高市には歴史的なものがあるのだと改めて知った。
今回の取り組みに関わる地元の声があるとより深みが増すのでは？
- ⑤（審議委員） 若者が対象であればもう少しかみ砕いたトークでも良いと思う。若者が何を聴きたがっているのか検討してみてもどうか。
- ⑥（事務局） 番組構成等検討していきたい。

(b) 収録番組「くびき野フォーク村のフォークボックス」

- ①（審議委員） パーソナリティの個性が際立つ番組。
- ②（審議委員） 楽しそうな雰囲気が伝わる反面、内輪話が多い印象。
- ③（審議委員） フォークが好きなリスナーには良いと思う。
リスナーからのメッセージがあると面白いのでは。
- ④（事務局） 制作する団体の持ち込み番組になるが、放送開始から一定期間経っているので構成等検討していきたい。

(2) その他

(a) 上越妙高駅 開業10周年記念イベント

概要 3月15日（土）午前10時～午前11時半 テレビ同時生中継

上越妙高駅とその周辺で行われる記念イベントの様子を伝える。

- ①（審議委員） 越後トキメキ鉄道沿線のスポット紹介などどうか。
- ②（審議委員） 電車でイベントに足を運ぶような企画があれば面白いと思う。
- ③（事務局） 新幹線開業10年という節目を振り返り、イベントに足を運ぶきっかけになるよう番組を制作したい。

6 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法

- ①事務所への備え置き
- ②自社ホームページ (<https://www.jcv.co.jp/>) への掲載